

# リアルオプションと戦略

2014 March

No.5

 日本リアルオプション学会  
The Japan Association of Real Options and Strategy
<http://realopn.jp>

大会  
JAROS  
2012

2012年11月3日

## シンポジウム「世界の中の日本を見据えて」

プラチナ社会における新産業の創造 —日本版CCRCの試み— [松田 智生] — 2

震災後のエネルギー業界における新たな潮流と新産業の可能性 [上杉 武弘] 5

## ワークショップ

Competition and the Bad News Principle  
in a Real Options Framework [西出 勝正・八木 恭子] — 10

## 特別セッション「リアルオプションと教育」

青山ビジネススクールにおける「リアルオプション」講義 [北村 智紀] — 14

リアルオプション教育に関わる事例と研究  
: 北海道大学経済学研究科のケース [後藤 允] — 19

## 公開研究会 講演要旨

生命リスク債券市場の動向 [井手 道久] — 22

資産クラスとしての金 —金のファンダメンタルズと金投資— [津金 真理子] — 27

書評・図書紹介／記録・ルポ／学会ニュース

# 第5号

## 目次

巻頭言 リアルオプションの実践とユースケースの蓄積を……………長谷川 専 1

### 講演要旨:シンポジウム「世界の中の日本を見据えて」(2012年11月3日)より

プラチナ社会における新産業の創造—日本版CCRCの試み—……………松田 智生 2

震災後のエネルギー業界における新たな潮流と新産業の可能性……………上杉 武弘 5

### ワークショップ:Asian Workshop on Real Investment Strategy and Risk Analysis

Competition and the Bad News Principle in a Real Options Framework  
……………西出 勝正・八木 恭子 10

### 特別セッション:「リアルオプションと教育」より

青山ビジネススクールにおける「リアルオプション」の講義……………北村 智紀 14

リアルオプション教育に関わる事例と研究:北海道大学経済学研究科のケース  
……………後藤 允 19

### 公開研究会 講演要旨

生命リスク債券市場の動向……………井手 道久 22

資産クラスとしての金—金のファンダメンタルズと金投資……………津金 真理子 27

#### 〈書評・会員近著紹介〉

加藤 敦 著「ソフトウェア・ビジネス—利用側と提供側の双方に立った複眼的研究—」  
……………松島 桂樹 32

福澤 英弘・小川 康 著「不確実性分析—実践講座—」……………高森 寛 34

青木 克人 著「情報システム化投資の定量評価—金融機関業態別モデルの構築—」……………26

#### 〈記録・ルポ〉

国際リアルオプション大会に参加して……………佐藤 公俊 36

JAROS2012 研究発表大会 第7回……………38

JAROS2013 研究発表大会 第8回……………39

協賛:国際会議 17th International Real Options Conference, July 25-27, 2013, Univ. of Tokyo  
……………40

#### 〈論文募集のご案内〉

論文誌「リアルオプション研究」……………9

Call for Paper: International Journal of Real Options and Strategy……………21

#### 〈付録〉

日本リアルオプション学会 会員募集のご案内……………41

日本リアルオプション学会 評議員および監事……………42

日本リアルオプション学会 会長・副会長・理事および各委員会……………43

学会だより……………44

編集後記……………44



## 巻頭言

# リアルオプションの実践とユースケースの蓄積を

長谷川 専

日本リアルオプション学会副会長・株式会社三菱総合研究所)

### 1. はじめに

私とリアルオプションとの出会いは2000年に出張中のニューデリーで川口有一郎先生からいただいた「リアルオプションのテキストを一緒に翻訳しませんか?」という一本のメールでした。この翻訳を契機に数多くの関連文献を読み漁りました。

そこには「先行き不透明なら先送り」、「小さく産んで大きく育てる」など、わが国の従来型意思決定を支持する含意が理論的に多数導かれていることに大変驚きました。リアルオプションを究めることで、わが国が自信を取り戻し、また、理論的にチューンナップされた戦略的意思決定で更なる飛躍を遂げられるのではないかと大いに期待を膨らませ、心躍る思いをしていました。

そのような折、高森寛先生からお声掛けをいただき、設立時から日本リアルオプション学会に携わることになった次第です。

### 2. 産業界での低い認知度は難解だから?

リアルオプション理論は実物資産を生産要素とする事業会社にこそ有用なはずですが、しかし、本学会に携わる中で、産業界での認知度がかなり低いことが分かりました。

確かに理論で用いるツール(特に連続モデル)は、産業界に身を置く者にとっては難解でとっつきにくい。だから適用実績も少ないのだという意見もあります。しかし、例えばデリバティブ取引に携わる者全員が

B/S 式を完全に理解しているでしょうか? 有用性が認識されれば、学界に理論を委ね、産業界はこれを実践し果実を獲得しようとする。リアルオプションも同じはずですが。

### 3. 実践とユースケースの蓄積を

産業界での認知度を高め有用性をしっかり認識してもらおう。そして、産業界での実践を進める。その中で、新たなテーマが学界に提示され、学術研究がさらに有用化、高度化していく。この正のスパイラルを生み出す起点は、学界と産業界の会員で構成される本学会こそが担うべきと考えます。

起点の起点は、産業界会員と学界会員が密にコミュニケーションを図り、産業界が関心ある課題やテーマを学界会員に提供する。学界会員はこうした課題やテーマに関する研究を積極的に実施し、分かりやすく実践可能な成果を産業界に還元する。産業界はこれを実践しユースケースの蓄積を図る。こういうことなのだろうと思います。

### 4. おわりに

本稿で示した考えはアイデアレベルです。もっといい方法もあるはずですが。リアルオプションの実践とユースケースの蓄積が図られるよう、是非、衆知を結集させて議論できればと思っています。そしていつか、かつての期待を現実のものとし、皆さんと一緒に心躍らせられれば最高です!

日本リアルオプション学会機関誌

**リアルオプションと戦略 第5号**

2014年3月20日 発行

〈機関誌編集委員会〉

委員長：余語将成

委員：瀬井哲也、藤江大輔、伊藤晴祥、高森寛

発行所 **日本リアルオプション学会**

The Japan Association of Real Options and Strategy

事務局本部

〒103-0027

東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビル5F

早稲田大学ファイナンス研究センター

事務業務担当

〒104-0033

東京都中央区新川2-22-4 新共立ビル2F

電話: 03-3551-9893 Fax: 03-3553-2047